

☆小学校6年間を見通した説明的文章教材の「表現のスキル」系統表（案）

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
重点指導事項 （「ここが大事」）		・文章と絵をあわせて読む ・なかまのことはば(カテゴライズ)	・順序を読む ・順序を表す言葉 ・順序を示す言葉	・「要点」をつかむ ・段落と段落のつながり ・写真と文章を結びつけて読む	・結果と結論／事実と意見 ・要約する ・経験と結びつけて読む	・事例と解説 ・絵で文をおぎなって読む ・ノンフィクション	・随筆を読む ・すいせん文を書くために ・要旨を読む （・様々な観点からの読み） ・伝記を読む
スキル	文章構成	・「問い」と「答え」 ・語のまとまり ・書かれている順序 ・文どうしのつながり	・時系列 ・主語と述語「何が」「どうする」 ・「問い」と「解説」 ・番号をつける（項立て）	・ナンバリング ・段落同士の関連 ・大きなまとまり（意味段落） ・「始め・中・終わり」 ・一般化	・筋道をたどる ・箇条書き ・中心となる語や文	・具体例と解説 ・文章や資料を比べて読む ・説明の手順 ・問いかげや投げかけ ・筆者の心情 ・時系列	・「事実」と「感想・意見」 ・筆者の思い ・根拠と裏付け ・説明の仕方、表現の工夫 ・問題－答え ・結論の段落…説明文の構成
	・表現の仕方 ・文法 ・用語 など	・「誰が」「どのように」 ・「ですから」 ・「このように」「また」	・「いつ」「どこで」「どのように」 ・（一）、（二）、（三）、… ・①、②、③、… ・「はじめに（まず）」「つぎに」…	・要点 ・「第一に」「第二に」… ・時を表す言葉 ・段落のはじめの文 （・指示語、接続語）	・「結果＝事実」「結論＝意見」 ・要約 ・引用	・類義語、対義語 ・根拠 ・ノンフィクション	・随筆 ・「感心したこと」「納得したこと」 ・図や表の使い方 ・「具体例」と「主張」 ・年表 ・人物像
言語活動例		・紹介する文章を書く ・説明する文章を書く （・自分の経験を想起する）	・写真を使って説明する ・おもちゃの作り方を説明する	・わかったことや大きなことをまとめる ・説明する文章を書く ・リーフレットを作成する	・明らかになったことを説明する ・文章を要約して紹介する ・自分の経験と照らし合わせる	・学級新聞を作る ・意見文を書く ・考えの変化を文章に表す ・自分の考えをまとめる	・経験を文章に書く ・推薦文を書く ・感想文を書く ・人物を紹介する文を書く
教材の系統	紹介するために読む	「はたらく じどうしゃ」		「どちらが生たまごでしょう」	「ウミガメの命をつなぐ」		（「伊能忠敬」）※
	説明するために読む	「みぶりで つたえる」	「すみれと あり」 「さけが大きくなるまで」 「きつつき」	「くらしと絵文字」	「花を見つける手がかり」		
	まとめる 自分の考えを持つ			「めだか」	「『便利』ということ」	「言葉と事実」 （「世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう」）（※注） （「みずささがしの旅」）（※注）	（「薫風」「迷う」）（※注） 「森林のはたらきと健康」 「ぼくの世界、君の世界」 （「二十一世紀に生きる君たちへ」）（※注）
	資料の活用 資料と文の対応	「すずめのくらし」 「だれが たべたのでしょう」	「さけが大きくなるまで」 「きつつき」	「どちらが生たまごでしょう」	「ウミガメの命をつなぐ」	（「世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう」）（※注） 「まんがの方法」	「森林のはたらきと健康」 （「伊能忠敬」）（※注）

（※注）5年生の「世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう」、「みずささがしの旅」および6年生の「薫風」、「迷う」、「伊能忠敬」「二十一世紀に生きる君たちへ」については、説明文と同じ「指導事項」を適用できるため、「説明的教材」として一覽表に掲載しました。